

**製品名: MCM3 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82938**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,FC
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:50-1:200,FC 1:200-1:400
分子量	91kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MCM3
別名	HCC5; P1.h; RLF8; P1-MCM3
遺伝子 ID	4172.0
SwissProt ID	P25205
免疫原	大腸菌で発現したヒト MCM3 の精製された組み換え断片。

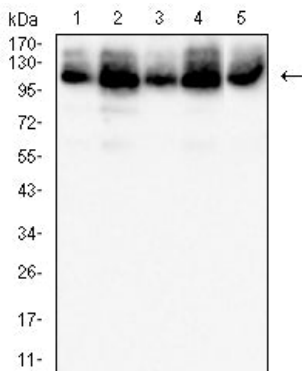
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、真核生物ゲノム複製の開始に関与する高度に保存されたミニ染色体維持タンパク質 (MCM) の 1 つです。MCM タンパク質によって形成される六量体タンパク質複合体は、複製前複合体 (pre\_RC) の重要な構成要素

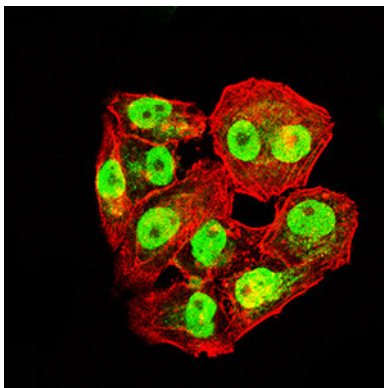
であり、複製フォークの形成や他の DNA 複製関連タンパク質のリクルートメントに関与している可能性があります。このタンパク質は、MCM2-7 からなるタンパク質複合体のサブユニットです。MCM5/CDC46 と直接相互作用することが示されています。また、このタンパク質はクロマチン関連アセチルトランスフェラーゼである MCM3AP とも相互作用し、アセチル化されます。このタンパク質のアセチル化は、DNA 複製の開始と細胞周期の進行を阻害します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つかっています。

## 研究分野

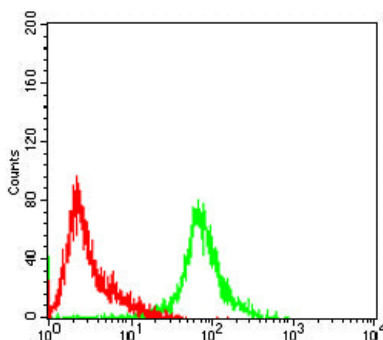
## 画像データ



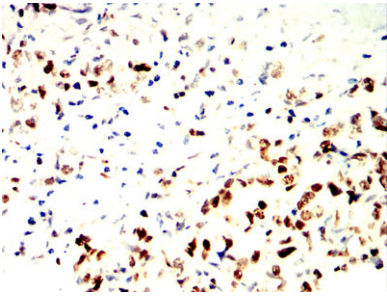
PC-12 (1)、HepG2 (2)、Hela (3)、COS7 (4) 細胞溶解物に対する MCM3 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



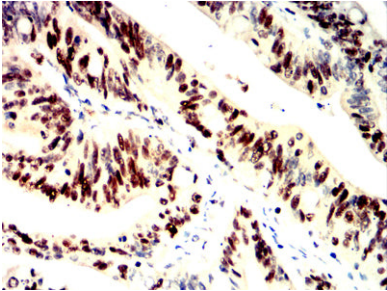
MCM3 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



MCM3 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



MCM3 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト胃癌組織の免疫組織化学分析。



MCM3 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。